

「からくりきいちゃん」展示

31日までたなべる

田辺工業高の卒業生制作

田辺工業高校の卒業生が在学中に制作した、全身アルミニウム製の人形「からくりきいちゃん」が田辺市東陽の市



搬入したからくり人形の「きいちゃん」を囲む田辺工業高校工作製図部の生徒6人（田辺市東陽で）

文化交流センター「たなべる」で展示されている。31日まで。

「きいちゃん」は2014年度の3年生が約1400時間かけて作り、15年1月に完

成させた。平らなアルミ板を金づちでたたき上げ、造形の丸みを作り出した力作。ハンドルを回すと手や首、尻尾が動く仕掛けになっている。

15年秋の紀の国わかやま国体の期間中は、田辺スポーツパークやJR紀伊田辺駅に設置され、訪れる人を出迎えた。ほかにもさまざまな大会やイベントに出向き、子どもたちを中心に楽しませてきた。

今回は一般の人にも広く見てもらいたいと展示。同校工作製図部の2年生6人が搬入した。

先輩の作品について、部員の岡田悠花さん(16)は「丸くするのは難しいけど、きれいに仕上げられているのが見どころ」、門脇俊樹君(16)は「基本的な技術を応用して作り上げている。ぜひ見に来てほしい」と来場を呼び掛けている。